【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公表番号】特表2003-519200(P2003-519200A)
【公表日】平成15年6月17日(2003.6.17)
【出願番号】特願2001-549692(P2001-549692)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　49/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　 5/055　 (2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/28　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　49/00　　Ａ
Ａ６１Ｂ　 5/05　 ３８３
Ｇ０１Ｎ　24/02　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月20日(2007.12.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　投与される用量の０．５％以上の百分率で肝胆道により排出される造影剤を含む、腸管腔の視覚化に有用な静脈内投与される診断用造影組成物。
【請求項２】　結腸の視覚化のための、請求項１記載の診断用造影組成物。
【請求項３】　該視覚化が、生理的条件下で得られる、請求項１又は２記載の診断用造影組成物。
【請求項４】　腸管腔の仮想三次元内視鏡的視覚化のための、請求項１又は２記載の診断用造影組成物。
【請求項５】　腸管腔の形態の視覚化のための、請求項１又は２記載の診断用造影組成物。
【請求項６】　腸管腔の形態的／構造的又は病的な損傷、変性及び／又は変化の視覚化のための、請求項１又は２記載の診断用造影組成物。
【請求項７】　機能的異常の視覚化のための、請求項１又は２記載の診断用造影組成物。
【請求項８】　該機能的な損傷、変性、変化及び／又は異常が、炎症状態、腹膜炎、過敏性結腸症候群、便秘、ポリープ症、憩室炎、癌性疾患、穿孔及び／又は薬理学的処置により引き起こされる、請求項６又は７記載の診断用造影組成物。
【請求項９】　手術後の腸管腔の視覚化のための、請求項１記載の診断用造影組成物。
【請求項１０】　単回投与による、肝臓、胆管、胆嚢及び腸管腔の複合及び逐次視覚化のための、請求項１又は２記載の診断用造影組成物。
【請求項１１】　該視覚化が、磁気共鳴映像法により得られる、請求項１～１０のいずれか１項記載の診断用造影組成物。
【請求項１２】　該視覚化が、三次元血管造影シーケンスにより得られる、請求項１１記載の診断用造影組成物。
【請求項１３】　患者が、該診断用造影組成物の投与前に、いかなる種類の準備も前処理も受けない、請求項１～１２のいずれか１項記載の診断用造影組成物。

【請求項１４】　該造影剤が、Ｇｄ－ＢＯＰＴＡ、Ｇｄ－ＥＯＢ－ＤＴＰＡ及び／又はこれらの生理的に適合性の塩である、請求項１１又は１２記載の診断用造影組成物。

【請求項１５】　胆汁輸送速度論の研究における使用に適した、請求項１記載の診断用造影組成物。